

2017年3月期第2四半期決算 決算説明会 Q&A (要旨)

【2017年3月期第2四半期の業績について】

Q：今後、だいこう証券ビジネスとはどのようにビジネスを進めていく方針か。だいこう証券ビジネスの株を保有する戦略的な位置付けについて教示願いたい。

A：NRIは業界標準ビジネスプラットフォームである共同利用型サービスにBPOサービスを追加して領域を広げていく方針であり、BPOサービスを提供しているだいこう証券ビジネスとの協力は重要である。

Q：保険業向け売上高が想定より低かった理由は何か。

A：期初の段階で見えていた案件を基にストレッチした目標を立てていたが、そのストレッチ分を当初想定していたスピード感で受注に結びつけることができなかった。

【中長期の成長戦略について】

Q：保険業向けビジネスの来期の見通しはどうか。足元の環境が厳しい中で、中期経営計画に与える影響はあるか。

A：マイナス金利の影響など、今後の経済環境によっては、中期経営計画で当初見込んでいた保険業の成長分を他分野でカバーすることを検討する可能性がある。

Q：Cutter社やASG社のM&Aにより、今後どのようなシナジー効果を考えているか。

A：資産運用ビジネスをアジアで拡大していくためにCutter社のノウハウを活用してサービスの提供につなげていきたい。

ASG社については、NRIセキュアテクノロジーズのセキュリティー関連のサービスを豪州の顧客に提供することや、金融機関向けのサービスを豪州において共同で展開することを検討しているほか、NRIが東南アジアに進出している日系企業向けに提供しているSCMに関するサービスのクラウド化を共同で手掛けていくことなども考えている。

また豪州のIT市場は、アジア・オセアニア諸国の中では日本に次いで中国を上回る規模であり、またクラウド化も進んでいるため、今後のビジネス拡大につながると考えている。

Q：今後のM&Aの方向性について確認したい。

A：今後のM&Aについては、グローバルだけでなく国内でも検討しており、NRIにとって必要なIPを保有している企業を対象にしたいと考えている。

・本資料は、2017年3月期第2四半期の業績および今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではなく、また何らかの保証・約束をするものではありません。本資料に掲載されております事項は、資料作成時点における当社の見解であり、その情報の正確性および完全性を保証または約束するものではなく、また今後、予告無しに変更されることがあります。
・本資料のいかなる部分も一切の権利は野村総合研究所に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

Q：中期経営計画で掲げた ROE のターゲットに変更は無いか。

A：ROE のターゲットに変更はない。

【2017年3月期業績予想修正について】

Q：上半期の営業利益は、だいたい証券ビジネスの業績によるマイナス影響を除けば、ほぼ期初予想時の想定通りだったという理解でよいか。

A：その理解で正しい。

Q：下期に予定しているデータセンターのオフバランス化によって、来期以降の費用負担に変化が生じるのか。

A：オフバランス化のスキームやオフバランス化によって発生する特別損失の金額については、今後検討をしていく段階なので詳細は未定であるが、来期以降の費用負担軽減につながることを念頭に置いている。

また、対象のデータセンターについては現時点では開示していない。

【資本政策について】

Q：今回発表された1対1.1の株式分割の目的を解説してほしい。

A：株主還元の向上と個人株主の増加を目的に、今回は増配と投資金額の引き下げをあわせて行う方法として株式分割を採用した。

以上